



### 病院のご紹介

近年、ストレスケアや認知症への対応等、精神医療が身近になったと感じます。但し、その入院患者数は減少の傾向にあり、病床数の拡大という「量」から、疾患に応じた精神医療の充実が求められるなど「質」が強く求められる時代に移りつつあります。このような流れの中、各精神科病院においては、疾患別の専門性を活かした取組みが増えてきました。

医療法人社団松弘会 トワーム小江戸病院様は、いちはやく専門性を高めた認知症特化の精神科病院として2008年6月に誕生しました。精神科病院でありながら、現在ではMRI・手術室があり、精神医療の範疇を超えた機能を備えています。これは、総合病院でなければ、対応することが難しい精神科身体合併症の対応に積極的に取組んだ結果です。

同法人の母体は一般病床126床の三愛病院です。平均在院日数 約14日、脳外科手術とガンマナイフ手術では、多くの実績をあげています。今後、循環器科の症例増加に備えて最新型のDSA（血管造影装置）を導入するなど、さらなる機能の向上に努められています。また、老人保健施設（2施設）、有料老人ホーム（1施設）を運営し、法人間の強固な連携をもとに、慢性期から急性期まで地域に根ざした医療を提供されています。

大成建設は、トワーム小江戸病院様が開業するにあたり医療福祉のコンサルティング力を発揮し、事業性分析及び提案から設計・施工を担当させていただきました。



### 認知症専門病院として取組むべき方向性が見えてきました

トワーム小江戸病院では「患者さんは、何が原因で認知症症状を起こしているのか」診断し、治療していくことが重要と考えています。そのためにMRI検査を行い、患者さんの脳を縦・横・斜めと様々な方

向から自由自在に撮影し、小さな腫瘍、梗塞、出血、脳動脈瘤、血管の異常を見つけ出し、正確な診断を行っています。

その結果、外科的手術により患者さんのうち2割が、自宅に復帰できるまでの実績をあげています。今後は脳ドック健診にも力を入れて、自覚症状のない脳梗塞・腫瘍・認知症などを早期に発見し、予防に役立てたいと考えています。

※MRI検査 (Magnetic Resonance Imaging 磁気共鳴画像診断法) : X線、造影剤を使用せず、磁気を利用して全身の微細な血管の抽出や微小な動脈瘤の鑑別を行う画像検査法。

昨年、患者さんの負担を軽くするために最新鋭MRI (3.0T) 装置を導入しました

トワーム小江戸病院は開院後、2年半足らずでMRI・手術室を増設することになるとは予想していませんでした。

以前は、三愛病院でトワーム小江戸病院に入院されている患者さんのMRI検査を行ってきました。患者さんはご高齢の方が多く、検査のたびに三愛病院に搬送しては身体に負担がかかります。トワーム小江戸病院内にMRI・手術室を増設した理由は、入院している病院でMRI検査や簡単な手術を行うことができれば患者さんだけでなく、ご家族の負担も軽くなると考えたからです。



MRI3.0



MRI操作室



手術室



MRI室・手術室 外観

患者さんのご家族や地域から取組みが評価されています

ご家族が満足されていることは、3つあります。

スタッフによる看護が行き届いており、医療体制が充実している

MRI検査によって何が起因で症状が出ているかを診断できる

建物がきれいで、院内に臭いがない

MRI装置をフルに活用して正確に起因する症状を診断することで、患者さんへの適切な処遇が可能となります。患者さんやそのご家族に対して検査結果をもとに、どのような治療手段があるのかをお伝えすることで、不安が取り除かれるとともに、納得していただきます。また、重症の患者さんを受け入れ、看取りまで対応していることを評価していただいています。このほかに、災害時の備えとして、井水の利用やエアコン以外の院内設備を自家発電に自動切替えし、通常通り運用できる体制を整えています。

こうしたトワーム小江戸病院の取組みを評価していただいた現われとして、地元ケーブルテレビでは、病院で催している季節の行事（夏祭り、クリスマスのキャンドルサービスなど）をトップニュースで紹介してくれます。



病院エントランス

スタッフの意識の中に「三愛ブランド」が着々と育まれています

スタッフの働きやすい職場環境を整えることで、離職率が低くなりました。それが、患者さんに対して手厚い看護体制を提供することに結びついています。毎週金曜日に行っている朝礼では、スタッフ間で医療に関する活発な発表を行い情報の共有化を図っています。病院の理念である、患者さん・地域・医療への3つの愛が育まれていると感じます。

トワーム小江戸病院には、医学的な観点で治療に役立てるための研究に取り組んでいるスタッフが数多くいます。また、医療チーム（医師・看護師・作業療法士など）とドックセラピストが連携し、生活機能訓練の一部として、ドックセラピーに取り組んでいます。これは、患者さんからの評判が良く、今後体系化を図り、2施設ある老人保健施設（トワーム指扇、トワーム熊谷）でも展開していきたいと考えています。

何事にもチャレンジできる病院であり続けたい

医療法人社団 松弘会は、さいたま市桜区で三愛病院を開業してから四半世紀とまだ若い法人です。将来に向け、何事にもチャレンジできる病院であり続けたいと考えています。私たちは医療が専門なので、医療以外のことは気がつかないことが多数あります。大成建設さんには、私たちがどのような事業に取り組めば、法人としての相乗効果が生み出せるか、更なる提案を望んでいます。

(取材日 2011年1月25日)

事例ライブラリ「人のための施設」:

医療法人社団 松弘会 認知症専門病院 トワーム小江戸病院

「大成建設On Line」100号記念企画！ TOP

食品分野：株式会社モンテール様 インタビュー

医薬品分野：生晃栄養薬品株式会社様 インタビュー

医療・福祉分野：医療法人社団 松弘会 認知症専門病院 トワーム小江戸病院様 インタビュー

電子デバイス分野：株式会社オルタステクノロジー様 インタビュー